

# 令和6年度 丹波篠山黒豆情報

第4号 令和6年10月25日 丹波篠山市・JA丹波ささやま・NOSAIひょうご丹波篠山事務所・丹波農業改良普及センター

\*丹波篠山市内6カ所に調査定点を設置しています。

## 【生育状況】(令和6年10月15日丹波篠山市定点調査結果より)

表1 枝豆期の生育調査結果(1株当りの平均数値)

調査項目	単位	令和6年値	平年値	平年比(%)	令和5年値 (参考)
主茎長	cm/株	74.9	73.6	102	67.1
全重	g/株	1,536.9	1,832.0	84	1,986.9
主茎節数	節/株	18.6	18.0	103	18.2
一次分枝数	枝/株	13.4	8.9	151	11.3

表2 枝豆期の収量調査結果(1株当りの平均数値)

単位：莢(莢数)・g(莢重)

	1粒莢		2粒莢		3粒莢		稔実莢		外莢	
	数	重	数	重	数	重	数	重	数	重
令和6年値	71.8	172.9	37.1	192.1	1.9	10.2	110.8	375.2	45.5	48.4
平年値	79.9	211.7	72.1	341.2	1.9	12.5	153.9	566.3	27.8	31.7
平年比	90	82	51	56	98	81	72	66	164	153
令和5年値 (参考)	95.3	231.5	61.2	268.6	2.0	12.5	158.5	521.6	31.1	34.3

\*稔実莢数=1粒莢+2粒莢+3粒莢 \*稔実莢重=1粒莢重+2粒莢重+3粒莢重

\*平年値は、平成26年から令和5年の過去10年間の平均値

- 主茎長は74.9cmで、平年比102%と平年並み、全重は平年比84%と低く、節数は平年比103%と平年並みで、一次分枝数は平年比151%と多くなりました。
- 稔実莢数は1株当り110.8莢で平年比72%、稔実莢重は375.2gで平年比66%となりました。
- 1粒莢の割合が高く、稔実莢重は平年比66%となりました。また、地域間に差があり、1株当り多い地区は191.5莢、少ない地区は73.3莢と大きな差が見られます。

## 【今年度の莢付き】

- ・今年、梅雨明けの7月中旬以降、平年に比べて高温が続いており、梅雨明けから8月中旬まで降雨がありませんでした。定点ほ場では定期的なかん水が実施されたことによって、昨年より着莢率が向上した地点もありました。
- ・9月も降雨が少なく高温の日が続きました。また、カメムシ類やフタスジヒメハムシ等の食害痕が散見されました。その結果、粒の肥大不良や停止が生じ、外莢数および1粒莢率が増加したと考えられます。



## 【今後の管理】

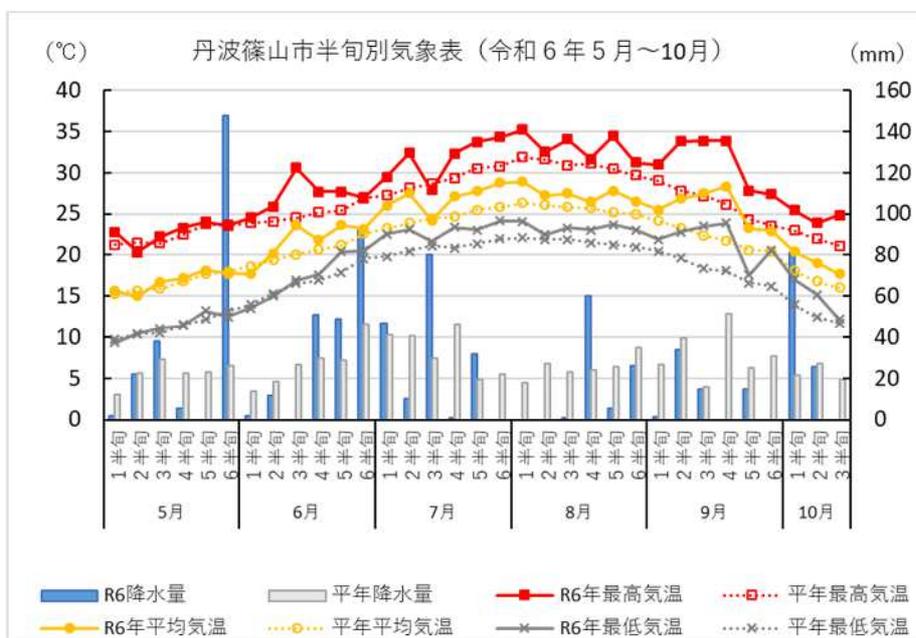
### 1 葉取り作業

- ・霜が降り、葉が十分に黄化していることを確認してから作業を開始します。
- ・葉や茎等、株全体が緑状態での葉取り作業は、成熟不良による「しわ豆」の発生原因となるので避けましょう。

### 2 収穫・乾燥作業

- ・収穫作業は、株全体の莢が80～90%黄化したのを確認してから実施します。
- ・乾燥作業は、機械乾燥の場合は、事前にはほ場やビニールハウスで予備乾燥を行い、莢や株の熟度を揃えましょう。

## 【気象】



近畿地方 向こう3か月（10～12月）の天候の見通し

予報のポイント

- ・向こう3か月の気温は、平均気温は平年並みまたは高くなるでしょう。
- ・向こう3か月の降水量について、近畿太平洋側は平年並みでしょう。